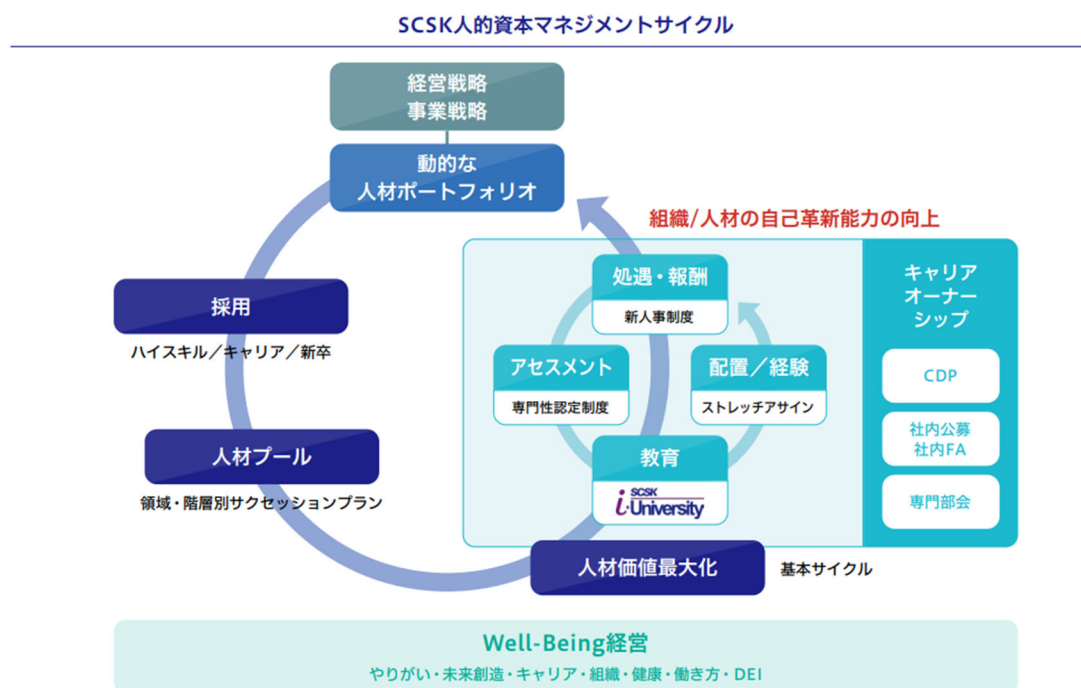


2026年5月1日  
SCSK株式会社

## 人事制度の改定に関するお知らせ ～“ストレッチアサイン”で社員への先行投資を加速し、創出価値を向上～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、「夢ある未来を、共に創る」を経営理念とし、これを実現する約束の一つ目に「人を大切にします。」を掲げています。SCSKの最大の財産、かつ成長の原動力は“人”であり、社員一人ひとりの自律的な成長を価値創出の原動力と捉え、人材価値を最大限に引き出す人的資本経営を推進しています。

SCSK では、人的資本経営の推進にあたり「SCSK 人的資本マネジメントサイクル」を定め、経営戦略・事業戦略に即した動的な人材ポートフォリオの構築と、それを実現する人材戦略を実行しています。人材ポートフォリオの充足に向けては、採用による多様な人材プールの形成に加え、育成・配置・評価・処遇を通じて組織および人材の自己革新能力を高め、人材価値の最大化を図っています。こうした取り組みをさらに実効性の高いものとするため、2026年7月に人事制度を改定します。



### 1. 人事制度改定の背景・目的

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の下、成長戦略としてサステナビリティ経営を推進しています。中長期の目指す姿として「グランドデザイン2030」を掲げ、お客様やパートナーとの共創を通じて、社会課題の解決と持続的な価値創出を実現する「2030年 共創ITカンパニー」を目指しています。その実現に向けて、多様な人材が意欲的に能力を磨き、持てる力を最大限に発揮できる環境を整えることが不可欠です。また、社会・技術・市場・顧客ニーズの変化やキャリアのあり方の多様化が急速に進む中で、社員が各々のキャリアオー

ナーシップを持ち、自らの価値を見つめ、その創出価値を高め続ける挑戦を促すこと、そのような企業文化を育むことの重要性がますます高まっています。こうした環境認識のもと、SCSKは職務を通じた社員一人ひとりのさらなる挑戦と、挑戦を梃にした社員の成長を後押しすべく、人事制度の抜本的な改定を行います。本制度改定により、社員一人ひとりの人材価値最大化を図り、さらなる企業価値向上を目指していきます。

## **2. 人事制度改定の概要**

### (1) 職掌・等級制度

- 能力・経験を基準とする職能等級制度から、担う役割に基づく「役割区分制度」へ移行し、職務内容と報酬の連動性を向上
- 上位役割への挑戦である“ストレッチアサイン”を、社員への先行的な人的資本投資と位置づけ、報酬と連動させて促進することで、意欲ある社員の可能性を引き出し、成長スピードを向上
- 社員が自身のキャリア志向に応じて職掌を選択可能とし、キャリアオーナーシップの醸成と適所適材の配置を推進

### (2) 報酬・評価制度

- 担う役割の大きさに応じた報酬水準を設定し、メリハリのある処遇を実現
- 60歳以降の継続雇用時に一律に報酬水準を見直す制度を改め、年齢や経験に左右されない、役割に基づく報酬決定により処遇の適正化を推進
- 事業戦略と人材戦略の連動を一層高めるため、戦略的重要度が極めて高い職種を「戦略職種」と位置づけ、柔軟な処遇を可能とする仕組みを導入
- 担う役割に応じた成果に加え、成果創出に至る行動を評価し、挑戦を通じた成長と人材価値向上を促進

なお本人事制度改定に加え、現行制度に基づく定期昇給による報酬水準の引き上げ、および貢献度に応じた特別加算を実施することで、全社平均で5.0%の報酬水準引き上げを行います。

また、人的資本経営の推進に向けた取り組みの一環として、生成AIを活用したスキル評価システムの共同開発に関するプレスリリースも公表しています。

[https://www.scsk.jp/news/2026/pdf/20260501\\_2.pdf](https://www.scsk.jp/news/2026/pdf/20260501_2.pdf)

## **SCSKグループのマテリアリティ**

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「多様なプロフェッショナルの活躍」に資するものです。

- 自律的な成長と挑戦を後押しする企業文化の醸成を通じて、人材価値の最大化と企業価値の向上を推進
- SCSKグループ、経営理念の実践となる7つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-1150